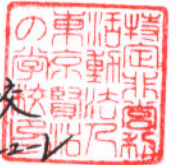


# プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2008年4月15日】

団体名 NPO法人 東京賢治の学校

自由ランドムジーク



## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するための活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. プロジェクト名

親子で遊ぼう春夏秋冬

## 2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

TVゲームが主流になっている現代の子どもの遊びは、外遊びや、体を使って集団で遊ぶ事が少なく、多摩川のほとりにある賢治の学校の学童では、この地域の豊かな自然や昔遊びの思い出、季節の移り変わりを感ずる様々なプログラムが取り入れられており、こうした体験を通して子どもが子どもらしく生きる時間を保障し、子どもが本来持っている力が発揮されるような遊びが工夫されている。今回は同じ立川に在住する親子が地域の方々と共に多様な世代の人たちと豊かな遊びの機会を持ち、楽しめ、自分たちの生活を見つめ直す機会を子どもに提供したいと考えた。

## 3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

場所: 東京賢治の学校 (立川市栄崎町6丁目) 講師: 小柳奈生、森山裕子、木原美和、日ノ澤きよ子、小林澄子、山崎金治 他。  
春 4/28 「野草天婦羅・草花あそび」  
夏 5/19 「よもぎ団子作り・草花染め」  
秋 11/10 「焼き団子作りと林巻マロン」  
冬 2/26 「もちつき大会」 1/19 「凧づくりとせんざい」 2/8 巨大バムクーハンとパジャマづくり

## 4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

知恵から小学生(1年~6年)の年齢差がある子どもたちが、スムーズに、楽しく取り組む事ができるように、回々のグループに分けた。特に幼児はまだ母親と一体になっている時期でもあり、幼児だけのグループ作り、親子で楽しく取り組める事にした。小学生チームは、3つのグループに分け縦割りにし高学年が下の子の面倒を見たり、手伝ったり、本来発揮できる力を出してもらいました。グループの中で子どもたちが、物作りや遊びを楽しみだけでなく、それぞれが自分ができる役割を見つけ出し、準備から後片づけのプロセスも体験できた事は、社会性を学ぶという効果にもなった。1企画参加ごとに、1スタンプしスタンプラリー形式で通いに参加した人は最後にプロゼットを渡す事にした結果、参加者全員で、楽しめた。

## 5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

自然の中に一歩足を踏み込むと、子どもたちの感覚器官は、とんぱん働かせ、身近に存在する小さな生命や草花にも目を向けるようになる。多様な子どもたちの姿を目の当たりにすると、現代の子どもたちへ向けては、金銭に乏しい大人が作り出している、改めて見直した。この様な企画を通して、親自らが子どもと一緒に体験する事で気付いていけた事が、良かった。又子どもたちも、多くの世代を交えた人たちの集りの中で、導き手である大人(スタッフや講師)への信頼や、人々とのコミュニケーションを育む事が出来た。この様な場を求め親子はこれからの子世代を増やしていく事だと思ふ。この企画も実際口だけで参加者が増えたり、来年度も大切なお話を年次でしていきたいと思ひました。

## 6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり 特になし